

指定管理者モニタリング結果報告書（令和4年度分）

- ・ 施設名 : 手島自然教育センター
- ・ 施設所管部課 : 市民生活部生活環境課広島市民センター
- ・ 指定管理者 : 特定非営利活動法人 石の里広島

| 区 分 | | 内 容 |
|------|-------------------------|---|
| 実施時期 | | 定期モニタリング：令和5年3月31日（金）午後1時～ 随時モニタリング：必要に応じて実施 |
| 実施方法 | | 定期モニタリング：事業報告書等を受け取り、聞き取り調査を実施 随時モニタリング：毎月の業務報告書を基に、聞き取り調査を実施 |
| 実施結果 | ①施設の状況 | 建築後約40年が経過しており、建物は全般的に老朽化し、耐震不足が懸念されている。令和4年度は、施設の耐震化等に向けた設計業務が完了し、令和5年度は耐震他改修工事を行う予定である。 |
| | ②施設の利用状況 | 令和4年度利用者数422人 利用料収入437,600円 (令和3年度利用者数361人 利用料収入129,800円) (参考:コロナ前の令和元年度利用者数1,035人 利用料収入765,200円) 利用者数、利用料収入は、いずれも、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し低調を推移したが、昨年度と比較し、若干回復傾向である。 |
| | ③施設利用者の意向把握と対応 | 利用者を対象としたアンケート実施や、聞き取りにより、利用者ニーズの把握に努めた。 |
| | ④管理体制 | 職員4人体制にて管理。 NPO 石の里広島を母体に、地元である手島住民を中心とした管理に移行した。令和5年度に予定する施設の耐震他改修工事に加え、設備、備品等の適切な整備に向けた計画を市と協議し進めている。利用者が安心安全に利用できる管理体制の強化に向け随時検討を継続する。 |
| | ⑤管理経費 | 事業計画書の範囲内の経費で管理されている。 専門的な業務は業者委託し、清掃等の業務は職員が実施し経費削減が図れている。 昨年度同様、新型コロナウイルス感染症が影響し利用者減少が続いているが、若干の利用者数、利用料収入の回復があった。 |
| | ⑥緊急時の対応について | 基本的に管理人が緊急時対応を行うが、大規模災害時は地元関係者等へ協力を要請し、迅速な対応ができる体制としている。 |
| | ⑦その他 (指定管理者の業務遂行能力等) | 指定管理者本体の財務状況に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障はない。地元住民を中心とした独自の創意工夫を凝らした柔軟な運営体制を目指し更なる業務遂行能力の向上が求められる。 |
| | ⑧改善指示事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度からの改善課題であった電話対応について、電話や携帯、メールなど問合せ体制の充実や改善を指示した。 ・ 途中になっている専用ホームページの作成、完成を指示した。 ・ 新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策、利用者の健康状態の確認等は継続実施を指示した。 |

| | | |
|---------------------------|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理においては、剪定業務の改善を指示した。 |
| <p>実施結果に対する所管課の意見</p> | | <p>概ね良好に運営されている。施設を適切に管理できる職員の育成、管理体制の整備が今後の課題である。耐震他改修後の利用再開に向け、広報活動を強化し、手島ならではの体験、島内魅力の発信も施設利用者の増加につなげるため必要である。</p> |
| <p>今後の施設管理に反映(改善)する事項</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設としての安全性確保のため、緊急性を要する修繕等を優先しておこない、備品等の整備は随時検討し実施する。 ・利用者ニーズを反映した施設運営を指定管理者と協議し検討する。 ・利用者増加につなげるため、移住者等を中心とした新たな創意工夫を凝らした事業実施や、施設の利便性を高める改善策を随時検討する。 ・施設利用状況や管理等は、指定管理者と情報共有を綿密に行う。 |